

# 令和6年長崎市観光統計

【確報版】

長 崎 市

## 長崎市観光統計について（推計方法の変更について）

令和6年長崎市観光統計から、より精度の高い統計とするため、令和5年度から導入した宿泊税の申告データに係る実績や、新たな人流データサービス等を活用し、訪問客数等の推計方法を変更している。

### ・訪問客数

長崎市は、国内観光のみならず、インバウンドやMICE、スポーツ、文化など多様な目的を持つ訪問客から選ばれるまちを目指していることから、令和4年観光統計から従来の「観光客数」の表記を「訪問客数」へ変更している。

旧方式	長崎市が地理的に西の端に位置することに鑑み、長崎市を通過して他都市へ移動する者が少ないと推測し、交通機関別の入込客数に基づき作成している。 長崎市への入込交通機関として、鉄道、自動車、船舶及び長崎空港に到着する航空機を加え、各交通機関別の入込客数を基に、月ごとの訪問客割合を考慮して推計している。
新方式 (令和6年分～)	位置情報ビックデータによる人流データと宿泊税申告データに係る延べ宿泊数実績を基に推計している。 日本人訪問客数は人流データサービス「おでかけウォッチャー」の数値と宿泊実績を基に推計し、外国人訪問客数は人流データサービス「モバイル空間統計」の数値を基に推計している。

### ・宿泊客数・日帰り客数

旧方式	宿泊客数は市内主要宿泊施設における宿泊客数実績の前年比伸び率を基に推計しており、日帰り客数については全体の訪問客数から宿泊客数を減じて算出している。
新方式 (令和6年分～)	総宿泊客数は宿泊税申告データに係る延べ宿泊客数実績及び市内主要宿泊施設における平均泊数を基に推計している。 日帰り客数は、前段で算出した宿泊客数及び「おでかけウォッチャー」、「モバイル空間統計」より抽出したデータにより推計している。

### ・個人客数・団体客数(一般・学生)

旧方式	団体客数(一般・学生)は市内主要観光施設における団体客数(一般・学生)の前年比伸び率を基に推計しており、個人客数については全体の観光客数から団体客数を減じて算出している。
新方式 (令和6年分～)	団体客数(学生)は、前年の団体客数(学生)に市内主要観光施設における団体客数(学生)の前年伸び率を乗じることで推計しており、団体客数(一般)は、訪問客数に長崎市日本人観光客動向調査の旅行形態内の団体旅行の割合を乗じて推計している。また、個人客数については全体の訪問客数から団体客数を減じて算出している。

・日本人延べ宿泊客数

旧方式	公表なし
新方式 (令和6年分～)	宿泊税申告データに係る延べ宿泊客数実績を基に推計している。

・外国人延べ宿泊客数(国・地域別)

旧方式	市内宿泊施設における外国人宿泊客数実績に基づき推計している。
新方式 (令和6年分～)	人流データサービス「モバイル空間統計」により国外における宿泊客数を抽出している。国・地域別については市内宿泊施設における外国人宿泊客数実績に基づき推計している。

・MICE統計(MICE件数・MICE参加人員)

旧方式	一般社団法人長崎国際観光コンベンション協会において、MICE受入施設への聞き取り調査等に基づき算出している。
新方式 (令和6年分～)	変更なし

・観光消費額・経済波及効果

旧方式	<p>一般訪問客の観光消費額は、観光動向調査により算出した宿泊・日帰り別／一般・学生別の1人当たり観光消費単価を3か年平均して、宿泊・日帰り別／一般・学生別の訪問客数に乗じて算出している。</p> <p>学生訪問客の観光消費額は、「教育旅行年報」(日本修学旅行協会発行)における調査データを元に宿泊・日帰り別の観光消費単価を設定し、宿泊・日帰り別の訪問客数に乗じて算出している。</p>
新方式 (令和6年分～)	<p>観光消費額は日本人訪問客と外国人訪問客の消費額を足して算出している。</p> <p>日本人一般訪問客の観光消費額は、日本人観光客動向調査により算出した宿泊・日帰り別／一般・学生別の1人当たり観光消費単価を、宿泊・日帰り別／一般・学生別の訪問客数に乗じて算出している。学生訪問客の観光消費額は、「教育旅行年報」(日本修学旅行協会発行)における調査データを元に宿泊・日帰り別の観光消費単価を設定し、宿泊・日帰り別の訪問客数に乗じて算出している。</p> <p>外国人訪問客の観光消費額は、訪日外国人観光動向調査及びクルーズ船調査により算出した宿泊・日帰り別の1人当たり観光消費単価を、宿泊・日帰り別の訪問客数に乗じて算出している。</p>

## 人流データサービスについて

---

### (1) おでかけウォッチャー

スマートフォンの GPS 位置情報に基づく、観光客分析に特化した人流データ・モニタリングツール。140 種類以上のスマートフォンアプリを通じて、利用者から明示的な同意を得て取得した GPS 位置情報・属性情報（性・年代別など）を取得できる。

長崎市外を発地として長崎市を訪れ、かつ位置情報ログ（5～15 分間隔で取得）が勤務地域ではない人数をカウントしている。

### (2) モバイル空間統計

携帯電話ネットワークの仕組みを使用して作成される人口の統計情報サービス。エリア内に滞在する訪日外国人の人数を、国・地域別に推計することが可能である。

- ・ 旅行客数：2 時間以上滞在した人数
- ・ 宿泊客数：2-4 時台（夜間時間帯）に 2 時間以上滞在した人数
- ・ 日帰り客数：旅行客数から宿泊客数を引いた人数



# 目 次

1	令和6年の観光動向	1
2	観光統計総括表	6
3	訪問客数・観光消費額の推移	8
4	月別訪問客数	10
5	宿泊客・日帰り客の推移	11
6	個人客・団体客の推移	12
7	クルーズ客船入港隻数及び乗客・乗務員数	13
8	外国人延べ宿泊客数の推移	15
9	国・地域別外国人延べ宿泊客数	16
10	MICE統計	18
11	経済波及効果	22
— 参考資料 —		
1	訪問客数の推移	24
2	主要観光施設の入場者数	25
3	主要イベントの集客数及び経済波及効果	25
4	宿泊施設の状況	26

# 1 令和6年の観光動向

## (1) 全国の観光動向

<b>日本人国内旅行消費額</b>			
<b>25兆1,536億円</b>	前年比14.8%増	(3兆2,435億円増)	
① 宿泊旅行	20兆3,325億円	前年比14.3%増	(2兆5,365億円増)
② 日帰り旅行	4兆8,211億円	前年比17.2%増	(7,070億円増)
<b>日本人国内延べ旅行者数</b>			
<b>5億3,995万人</b>	前年比8.5%増	(4,237万人増)	
① 宿泊旅行	2億9,314万人	前年比4.2%増	(1,179万人増)
② 日帰り旅行	2億4,681万人	前年比14.1%増	(3,058万人増)
<b>日本人国内旅行1人あたり旅行単価</b>			
<b>46,585円</b>	前年比5.8%増	(2,551円増)	
① 宿泊旅行	69,362円	前年比9.7%増	(6,109円増)
② 日帰り旅行	19,553円	前年比2.7%増	(506円増)

日本人の国内旅行消費額は、前年比14.8%増(3兆2,435億円増)の25兆1,536億円であった。日本人の国内延べ旅行者数は、宿泊旅行が前年比4.2%増(1,179万人増)の2億9,314万人、日帰り旅行が前年比14.1%増(3,058万人増)の2億4,681万人で、全体として前年比8.5%増(4,237万人増)の5億3,995万人となり、日本人国内旅行の1人1回当たり旅行単価は前年比5.8%増(2,551円増)の46,585円となった。

(出典)観光庁「旅行・観光消費動向調査」2024年年間値(確報)

<b>訪日外客数</b>	
<b>3,686万9,900人</b>	前年比47.1%増(約1,180万人増)

令和6年に日本を訪れた外国人(訪日外客数)は、前年比47.1%増(約1,180万人増)の3,686万9,900人と、過去最高であった令和元年を約500万人上回り、年間過去最高を更新した。桜・紅葉シーズンや夏の学校休暇など、ピークシーズンを中心に各市場が単月での過去最高を更新し、東アジアのみならず東南アジア、欧米豪・中東においても実数を増やしたことが、年間過去最高の更新に繋がった。

(出典)日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数(2024年12月および年間推計値)」

## 外国人延べ宿泊者数

1億6,360万人泊 前年比38.9%増(約4,585万人泊増)

外国人延べ宿泊者数は、前年比38.9%増(約4,585万人泊増)の1億6,360万人となった。また、国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数は、第1位が中国(約2,506万人泊、シェア18.4%)、第2位以下は台湾(約1,817万人泊、シェア13.4%)、韓国(約1,781万人泊、シェア13.1%)、アメリカ(約1,437万人泊、シェア10.6%)、香港(約771万人泊、シェア5.7%)と続き、上位5か国・地域で全体の約61.1%※を占める。

※小数点第2位以下を四捨五入しているため、5か国・地域の合計値と一致しない。

※国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数は、従業者数10人以上の施設に対する調査から作成されており、全体で1億3,609万8,660人泊となっている。

(出典)観光庁「宿泊旅行統計調査(2024年年間値(速報))」

## 訪日外国人旅行消費額

8兆1,257億円 前年比53.1%増(2兆8,192億円増)

## 訪日外国人旅行者1人当たり旅行支出

22万6,851円 前年比6.6%増(1万4,087円増)

訪日外国人の旅行消費額は前年比53.1%増(2兆8,192億円増)の8兆1,257億円と増加し、1人当たりの旅行支出は前年比6.6%増(1万4,087円増)の22万6,851円と増加した。

国籍・地域別の旅行消費額では、中国が最も高く(1兆7,265億円、シェア21.2%)、次いで台湾(1兆897億円、シェア13.4%)、韓国(9,602億円、シェア11.8%)、アメリカ(9,011億円、シェア11.1%)、香港(6,606億円、シェア8.1%)の順となっており、上位5か国・地域で全体の65.7%※を占める。

1人当たり旅行支出は、イギリスが最も高く(38万1千円)、次いでオーストラリア(38万円)、スペイン(36万8千円)の順で高い。

※小数点第2位以下を四捨五入しているため、5か国・地域の合計値と一致しない。

(出典)観光庁「インバウンド消費動向調査 2024年暦年調査結果(確報)の概要」

(2) 長崎市の観光動向

**訪問客数**

<b>654万425人</b>	<b>前年比 7.4%増</b>	<b>(44万8,518人増)</b>
① 宿泊客数	233万7,924人	前年比 6.0%増 (13万1,924人増)
日帰り客数	420万2,501人	前年比 8.1%増 (31万6,594人増)
② 個人客数	595万4,625人	前年比 6.8%増 (37万7,718人増)
団体客数	58万5,800人	前年比 13.7%増 (7万 800人増)
〔一般団体客数	32万7,000人	前年比37.6%増 (8万9,400人増)
〔学生団体客数(修学旅行生)	25万8,800人	前年比 6.7%減 (1万8,600人減)

**日本人・外国人別／宿泊・日帰り別 訪問客数**

日本人	宿泊	210万8,610人	前年比 2.5%増	(5万1,813人増)
	日帰り	362万2,739人	前年比 0.4%減	(1万3,076人減)
	日本人計	573万1,349人	前年比 0.7%増	(3万8,737人増)
外国人	宿泊	22万9,314人	前年比 53.7%増	(8万 111人増)
	日帰り	57万9,762人	前年比131.8%増	(32万9,670人増)
	外国人計	80万9,076人	前年比102.6%増	(40万9,781人増)

**日本人・外国人別 延べ宿泊客数**

日本人	257万2,505人泊	前年比 3.4%増	(8万3,781人泊増)
外国人	36万4,609人泊	前年比 41.3%増	(10万6,488人泊増)

**クルーズ客船入港数、乗客・乗務員数**

入港数	160隻	前年比 66.7%増	(64隻増)
乗客・乗務員数	47万2,120人	前年比 182.6%増	(30万5,034人増)
国内クルーズ客船	入港数	3隻	前年比200.0%増 (2隻増)
	乗客・乗務員数	2,254人	前年比175.2%増 (1,435人増)
国際クルーズ客船	入港数	157隻	前年比65.3%増 (62隻増)
	乗客・乗務員数	46万9,866人	前年比182.6%増 (30万3,599人増)

**観光消費額**

日本人	1,704億3,736万円	前年比	5.5%増	(約89億円増)
外国人	426億4,686万円	前年比	148.1%増	(約255億円増)
計	2,130億8,423万円	前年比	19.2%増	(約344億円増)

**経済波及効果（長崎県内）**

3,175億円	前年比	18.1%増	(約487億円増)
---------	-----	--------	-----------

**訪問客1人あたり市内観光消費額**

平均	32,580円	前年比	11.1%増	(3,248円増)
宿泊客	52,356円	前年比	14.5%増	(6,629円増)
日帰り客	21,578円	前年比	7.8%増	(1,553円増)
日本人平均	29,738円	前年比	4.8%増	(1,367円増)
外国人平均	52,711円	前年比	22.5%増	(9,670円増)

※ 推計方法を変更した項目の前年比は、令和5年分を新方式で推計した数値との比較を示している。

※ 四捨五入の関係により、観光消費額の内訳と合計は一致しない。

令和6年の長崎市の訪問客数は654万425人となった。

このうち日帰り客数は420万2,501人、宿泊客数は233万7,924人となった。

また、旅行形態別にみると、個人客数が595万4,625人、団体客数が58万5,800人となった。

日本人・外国人別にみると、日本人客数が573万1,349人、外国人客数が80万9,076人となった。

延べ宿泊客数は日本人が257万2,505人泊、外国人が36万4,609人泊となった。

令和6年の観光消費額は、2,130億8,423万円となった。また、長崎県内への経済波及効果については、3,175億円となった。

以上の観光動向に影響を与えうる要因を以下のとおり分析した。ただし、推計方法の変更により前年までとの単純比較ができないことには留意が必要である。

### 【動向に影響を与えうる主な要因】

#### ▪ 長崎ランタンフェスティバル集客数が過去最高

ランタンフェスティバルは4年ぶりに本格的な規模での開催となった。長崎県出身の俳優・歌手の福山雅治さんと俳優の仲里依紗さんを皇帝・皇后役とした「皇帝パレード 特別版」が開催されたこともあり、平成6年にイベントが始まって以来最高となる121万人が来場した。

#### ▪ ホテルを中心とする施設の開業

令和6年はホテル開業が相次ぎ、1月16日には長崎マリオットホテル、2月1日にFAV LUX 長崎、10月14日にスタジアムシティホテル長崎、12月13日にホテルインディゴ長崎グランドバーストリートが新規開業している。また、東横イン長崎駅前が7月11日にリニューアルオープンし、客室数を200室増やした。

10月14日には、サッカースタジアムを核としてアリーナ・オフィス・商業施設・ホテルを備えた複合施設「長崎スタジアムシティ」が開業した。

#### ▪ 国際クルーズ客船の入港数増加

令和5年3月7日に国際クルーズ客船の受付を再開して以来、国際クルーズ客船の入港は増加傾向にある。令和6年は前年比65%増（62隻増）となり、乗客・乗務員数は182%増（約30万人増）と、外国人訪問客数を大きく押し上げた。

また、令和6年10月27日より長崎-ソウル線の定期航空便が運航再開した。

2 観光統計総括表

【単位：人、人泊、％】

		令和5年 (旧方式)	令和5年 (新方式)	令和6年 (新方式)	令和6年	
					構成比	前年比増減
訪問客数		5,319,400	6,091,907	6,540,425	100.0	7.4
宿泊の有無別	宿泊客数	2,248,300	2,206,000	2,337,924	35.7	6.0
	日帰り客数	3,071,100	3,885,907	4,202,501	64.3	8.1
旅行形態別	個人客数	4,834,500	5,576,907	5,954,625	91.0	6.8
	団体客数	484,900	515,000	585,800	9.0	13.7
	一般	207,500	237,600	327,000	5.0	37.6
	学生	277,400	277,400	258,800	4.0	▲6.7
日本人・外国人別訪問客数	日本人客数	-	5,692,612	5,731,349	87.6	0.7
	宿泊客数	-	2,056,797	2,108,610	32.2	2.5
	日帰り客数	-	3,635,815	3,622,739	55.4	▲0.4
	外国人客数	-	399,295	809,076	12.4	102.6
	宿泊客数	-	149,203	229,314	3.5	53.7
	日帰り客数	-	250,092	579,762	8.9	131.8
延べ宿泊客数	計	-	2,746,845	2,937,114	100.0	6.9
	日本人	-	2,488,724	2,572,505	87.6	3.4
	外国人	258,226	258,121	364,609	12.4	41.3

【単位：億円、％】

		令和5年 (旧方式)	令和5年 (新方式)	令和6年 (新方式)		
					構成比	前年比増減
観光消費額	計	1,435	1,787	2,131	100.0	19.2
	日本人	-	1,615	1,704	80.0	5.5
	外国人	-	172	426	20.0	148.1
経済波及効果		2,163	2,688	3,175		18.1

※ 前年比増減は、令和5年分を新方式で推計した数値との比較を示している。

※ 四捨五入の関係により、観光消費額の内訳と合計は一致しない。また、前年比増減は四捨五入する前の数字から算出している。

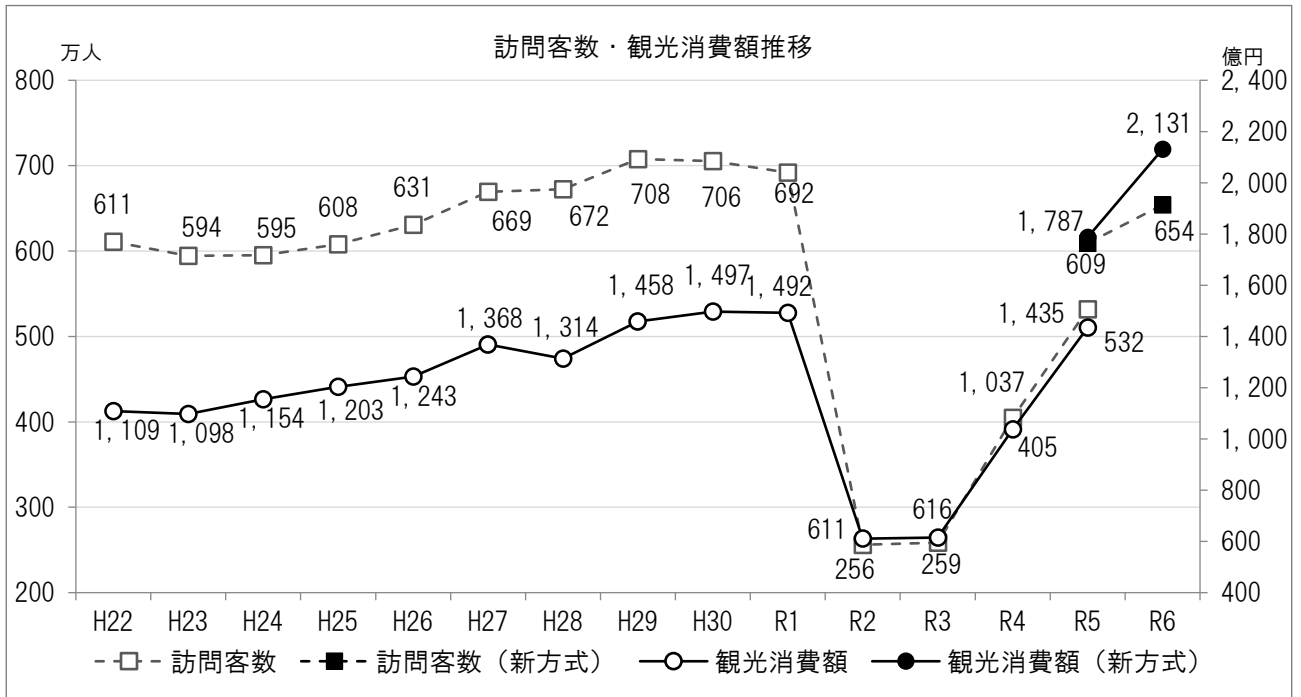
### 3 訪問客数・観光消費額の推移

【単位：人、千円、％】

年	訪問客数	前年比増減		観光消費額	前年比増減	
平成22年	6,108,300	522,700	9.4	110,880,935	35,779,320	47.6
平成23年	5,944,700	▲163,600	▲2.7	109,766,697	▲1,114,238	▲1.0
平成24年	5,952,900	8,200	0.1	115,446,919	5,680,222	5.2
平成25年	6,078,000	125,100	2.1	120,320,106	4,873,187	4.2
平成26年	6,306,800	228,800	3.8	124,323,000	4,002,894	3.3
平成27年	6,693,800	387,000	6.1	136,834,458	12,511,458	10.1
平成28年	6,723,500	29,700	0.4	131,378,500	▲5,455,958	▲4.0
平成29年	7,077,700	354,200	5.3	145,846,150	14,467,650	11.0
平成30年	7,055,400	▲22,300	▲0.3	149,689,454	3,843,304	2.6
令和元年	6,917,800	▲137,600	▲2.0	149,189,702	▲499,752	▲0.3
令和2年	2,560,600	▲4,357,200	▲63.0	61,066,048	▲88,123,654	▲59.1
令和3年	2,585,700	25,100	1.0	61,551,969	485,921	0.8
令和4年	4,048,800	1,463,100	56.6	103,741,749	42,189,780	68.5
令和5年	5,319,400	1,270,600	31.4	143,462,747	39,720,998	38.3
令和5年 (新方式)	6,091,907	-	-	178,689,631	-	-
令和6年 (新方式)	6,540,425	448,518	7.4	213,084,226	34,394,595	19.2

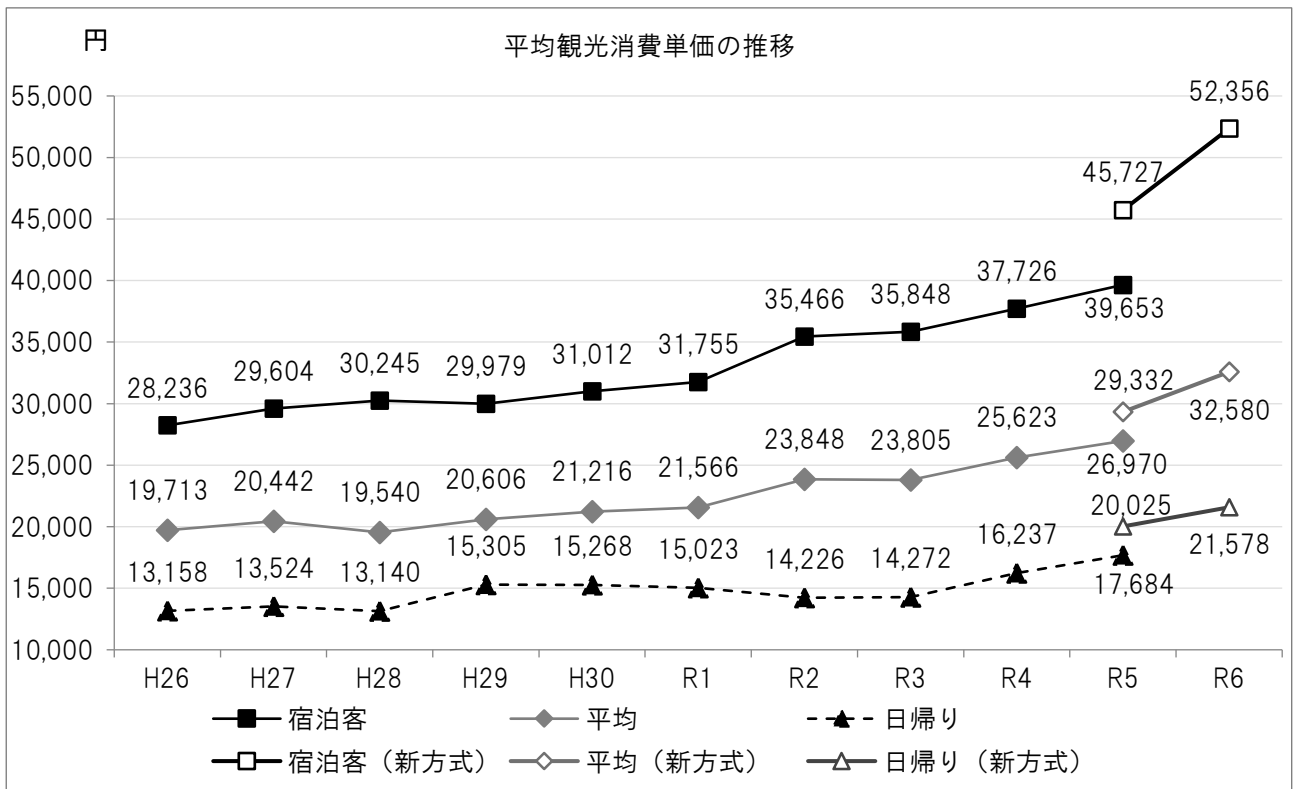
※ 令和6年の前年比増減は、令和5年分を新方式で推計した数値との比較を示している。

図1 訪問客数・観光消費額の推移



※ 参考値として、令和5年分について新方式で推計した数値をグラフ上にプロットしている。

図2 平均観光消費単価の推移



※ 参考値として、令和5年分について新方式で推計した数値をグラフ上にプロットしている。

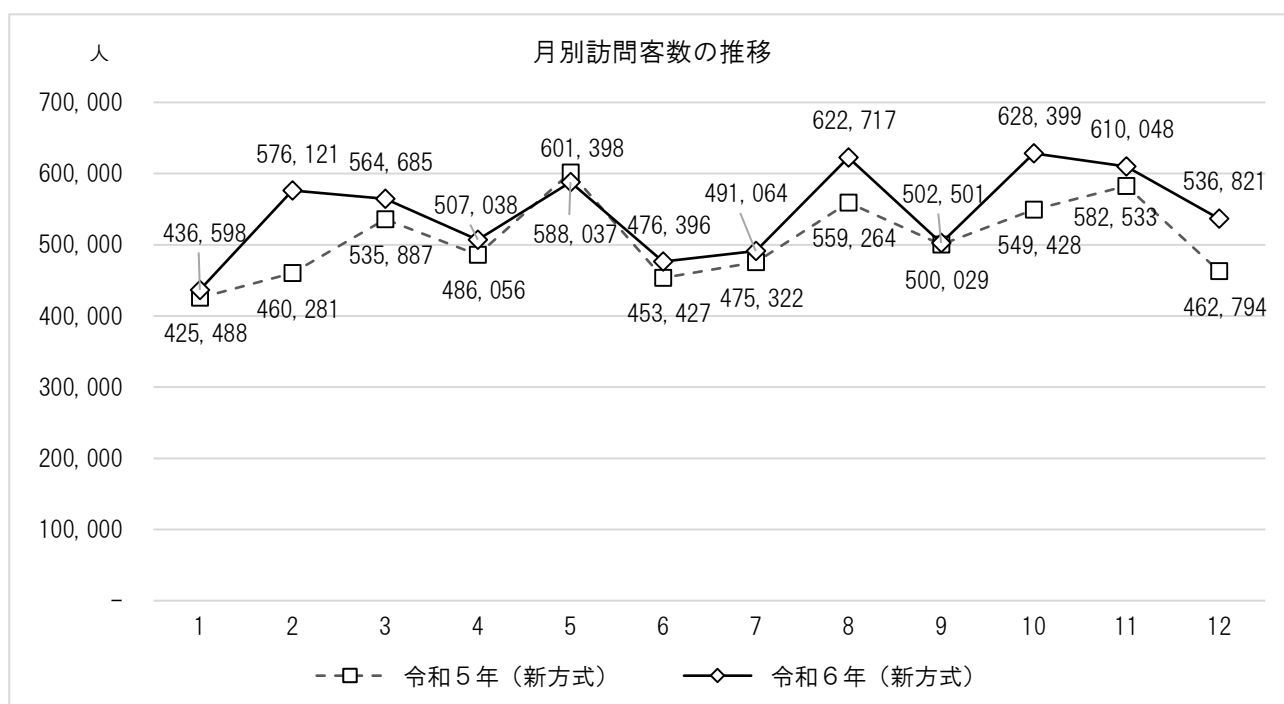
#### 4 月別訪問客数

【単位：人、％】

月	令和5年 (旧方式)	令和5年 (新方式)	令和6年 (新方式)	構成比	前年比増減
1月	263,400	425,488	436,598	6.7	2.6
2月	319,700	460,281	576,121	8.8	25.2
3月	584,000	535,887	564,685	8.6	5.4
4月	434,500	486,056	507,038	7.8	4.3
5月	456,300	601,398	588,037	9.0	▲2.2
6月	316,400	453,427	476,396	7.3	5.1
7月	437,100	475,322	491,064	7.5	3.3
8月	474,900	559,264	622,717	9.5	11.3
9月	481,500	500,029	502,501	7.7	0.5
10月	573,600	549,428	628,399	9.6	14.4
11月	606,900	582,533	610,048	9.3	4.7
12月	371,100	462,794	536,821	8.2	16.0
計	5,319,400	6,091,907	6,540,425	100.0	7.4

※ 前年比増減は、令和5年分を新方式で推計した数値との比較を示している。

図3 月別訪問客数の推移



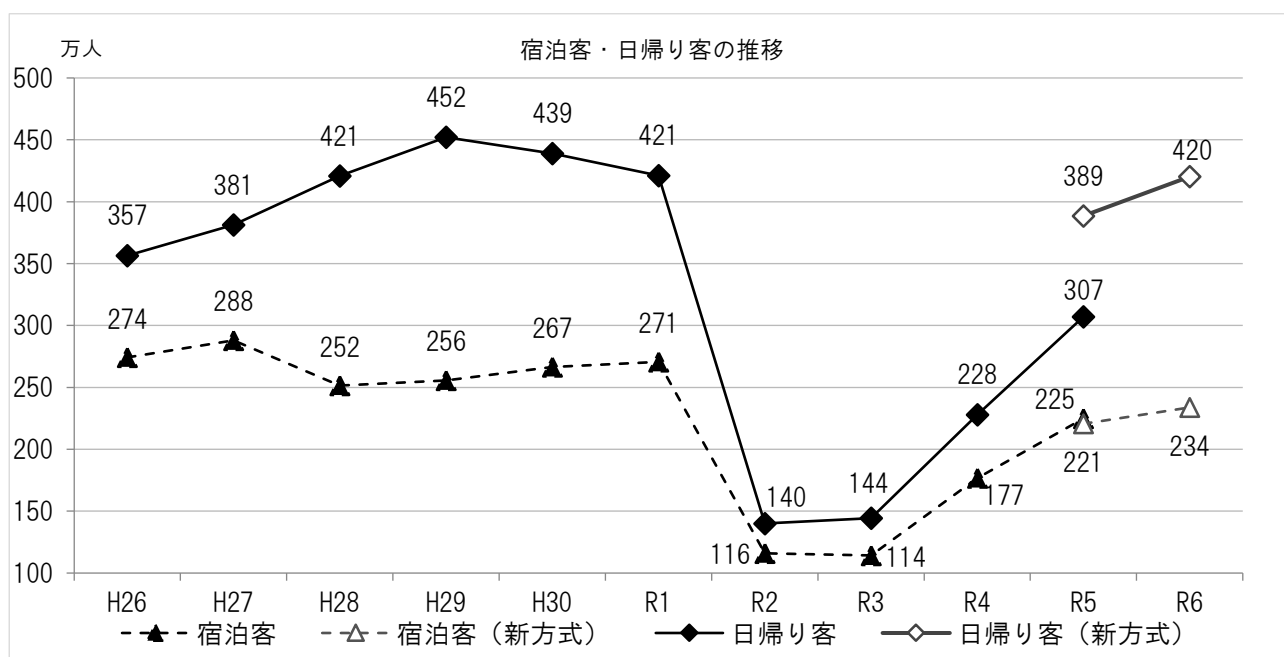
## 5 宿泊客・日帰り客の推移

【単位：人、％】

年	宿泊客			日帰り客		
	人数	構成比	前年比増減	人数	構成比	前年比増減
平成24年	2,586,800	43.5	2.3	3,366,100	56.5	▲1.4
平成25年	2,694,100	44.3	4.1	3,383,900	55.7	0.5
平成26年	2,741,500	43.5	1.8	3,565,300	56.5	5.4
平成27年	2,879,800	43.0	5.0	3,814,000	57.0	7.0
平成28年	2,515,700	37.4	▲12.6	4,207,800	62.6	10.3
平成29年	2,556,900	36.1	1.6	4,520,800	63.9	7.4
平成30年	2,665,600	37.8	4.3	4,389,800	62.2	▲2.9
令和元年	2,705,200	39.1	1.5	4,212,600	60.9	▲4.0
令和2年	1,160,000	45.3	▲57.1	1,400,600	54.7	▲66.8
令和3年	1,142,400	44.2	▲1.5	1,443,300	55.8	3.0
令和4年	1,768,400	43.7	54.8	2,280,400	56.3	58.0
令和5年	2,248,300	42.3	27.1	3,071,100	57.7	34.7
令和5年 (新方式)	2,206,000	36.2	-	3,885,907	63.8	-
令和6年 (新方式)	2,337,924	35.7	6.0	4,202,501	64.3	8.1

※ 令和6年の前年比増減は、令和5年分を新方式で推計した数値との比較を示している。

図4 宿泊客・日帰り客の推移



※ 参考値として、令和5年分について新方式で推計した数値をグラフ上にプロットしている。

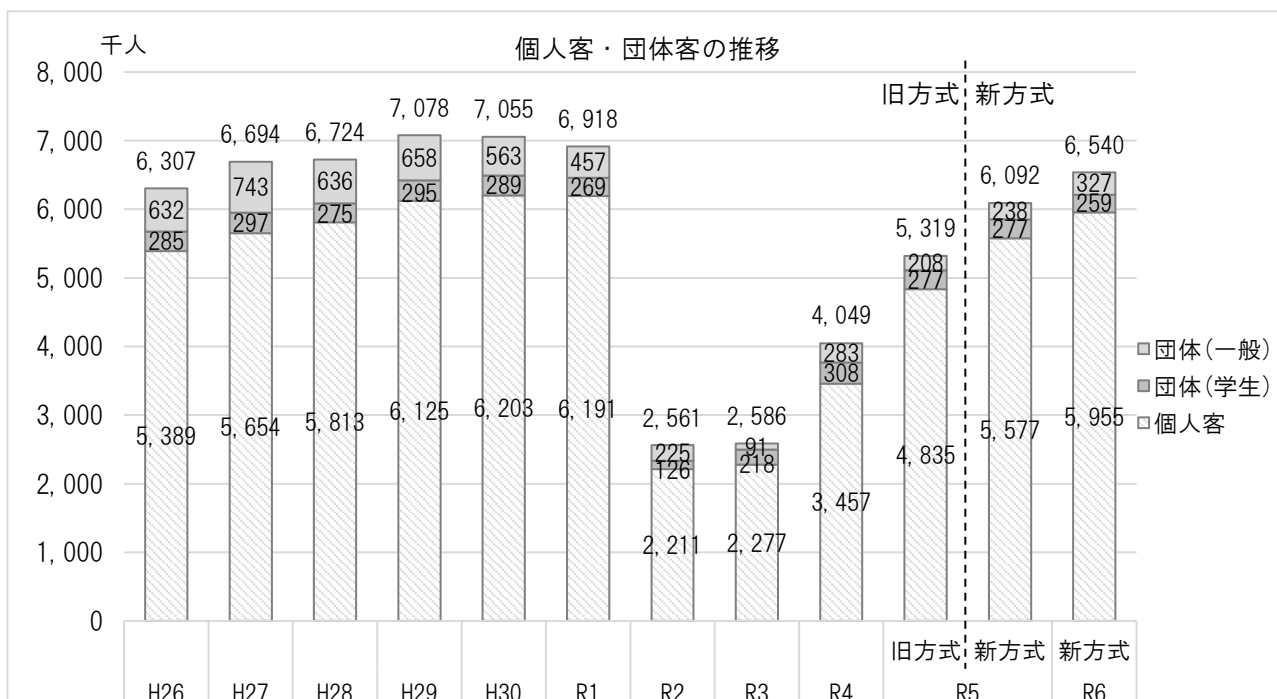
## 6 個人客・団体客の推移

【単位：人、％】

年	個人客		団体客		一般		学生	
	人数	前年比増減	人数	前年比増減	人数	前年比増減	人数	前年比増減
平成24年	5,102,100	▲1.6	850,800	11.7	560,300	29.1	290,500	▲11.4
平成25年	5,154,000	1.0	924,000	8.6	620,500	10.7	303,500	4.5
平成26年	5,389,400	4.6	917,400	▲0.7	632,200	1.9	285,200	▲6.0
平成27年	5,653,900	4.9	1,039,900	13.4	742,600	17.5	297,300	4.2
平成28年	5,812,600	2.8	910,900	▲12.4	636,300	▲14.3	274,600	▲7.6
平成29年	6,124,800	5.4	952,900	4.6	658,100	3.4	294,800	7.4
平成30年	6,202,900	1.3	852,500	▲10.5	563,300	▲14.4	289,200	▲1.9
令和元年	6,191,200	▲0.2	726,600	▲14.8	457,200	▲18.8	269,400	▲6.8
令和2年	2,210,500	▲64.3	350,100	▲51.8	224,500	▲50.9	125,600	▲53.4
令和3年	2,277,200	3.0	308,500	▲11.9	90,500	▲59.7	218,000	73.6
令和4年	3,457,000	51.8	591,800	91.8	283,400	213.1	308,400	41.5
令和5年	4,834,500	39.8	484,900	▲18.1	207,500	▲26.8	277,400	▲10.1
令和5年 (新方式)	5,576,907	-	515,000	-	237,600	-	277,400	-
令和6年 (新方式)	5,954,625	6.8	585,800	13.7	327,000	37.6	258,800	▲6.7

※ 令和6年の前年比増減は、令和5年分を新方式で推計した数値との比較を示している。

図5 個人客・団体客の推移



※参考値として、令和5年分について新方式で推計した数値をグラフ上にプロットしている。

※百の位で四捨五入しているため、合計と内訳が一致しない。

## 7 クルーズ客船入港隻数及び乗客・乗務員数

### (1) 国内・国際クルーズ客船入港隻数及び乗客・乗務員数

【単位：隻、人、％】

	令和4年		令和5年		令和6年		
	隻数	推計	隻数	推計	隻数	推計	前年比増減
計	0隻	0	96隻	167,086	160隻	472,120	182.6

### (2) 国内クルーズ客船入港隻数及び乗客・乗務員数

【単位：隻、人、％】

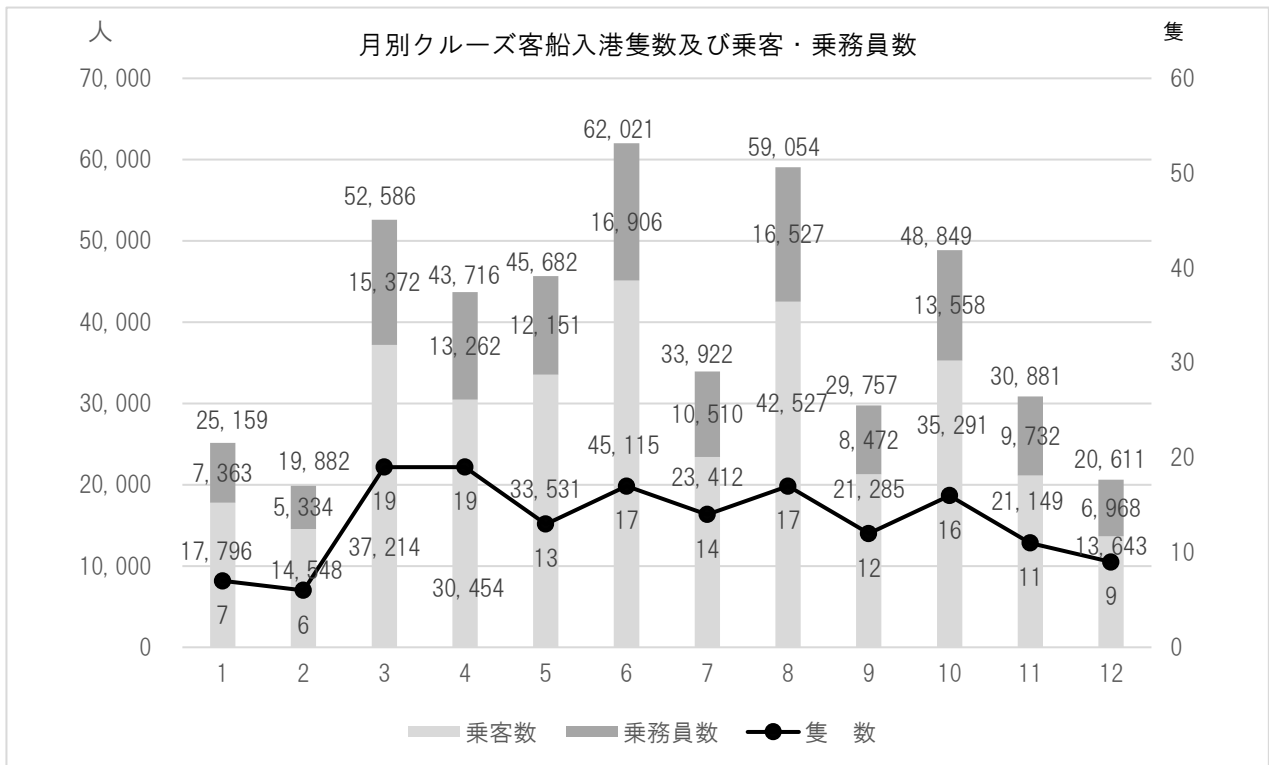
	令和4年		令和5年		令和6年		
	隻数	推計	隻数	推計	隻数	推計	前年比増減
計	0隻	0	1隻	819	3隻	2,254	175.2

### (3) 国際クルーズ客船入港隻数及び乗客・乗務員数

【単位：隻、人、％】

	令和4年		令和5年		令和6年		
	隻数	推計	隻数	推計	隻数	推計	前年比増減
計	0隻	0	95隻	166,267	157隻	469,866	182.6

図6 月別クルーズ客船入港隻数及び乗客・乗務員数



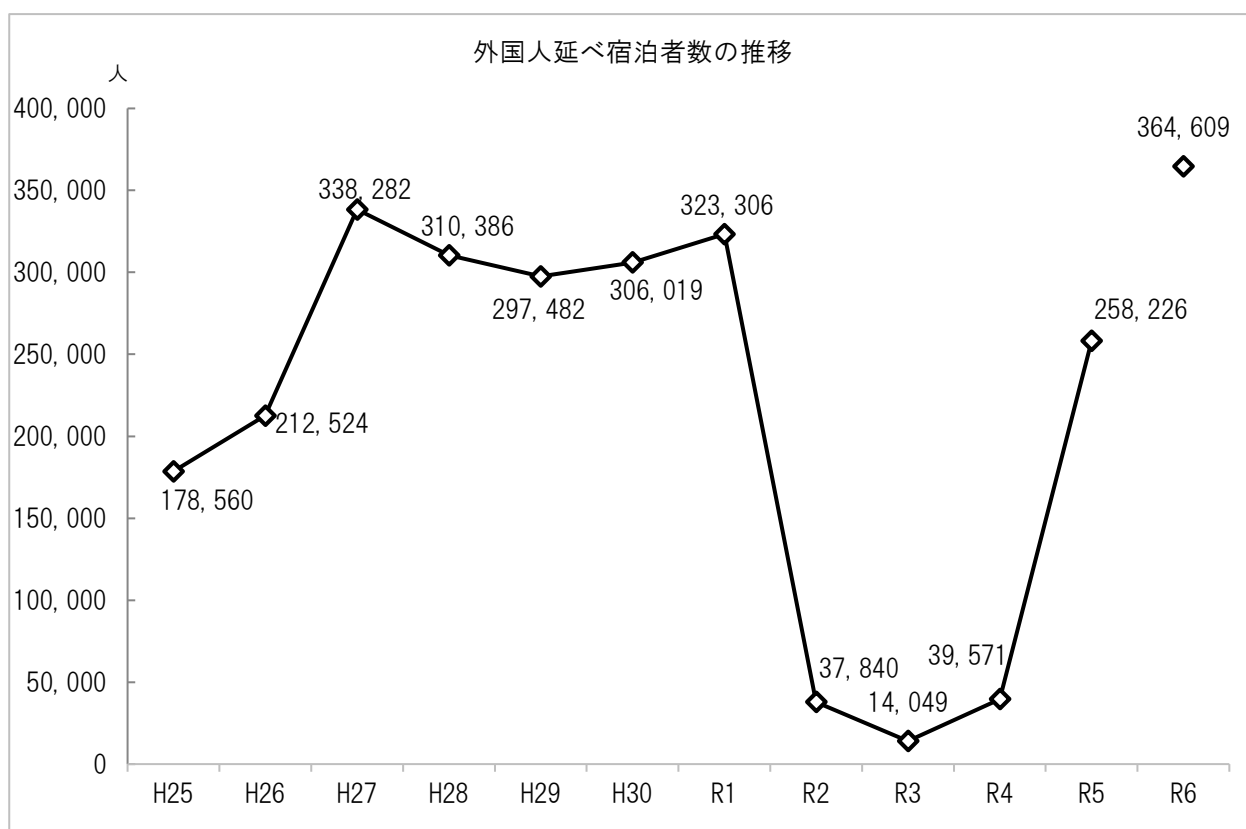
## 8 外国人延べ宿泊客数の推移

【単位：人泊、％】

年	外国人延べ宿泊客数	前年比増減
平成22年	164,335	0.6
平成23年	116,051	▲29.4
平成24年	128,519	10.7
平成25年	178,560	38.9
平成26年	212,524	19.0
平成27年	338,282	59.2
平成28年	310,386	▲8.2
平成29年	297,482	▲4.2
平成30年	306,019	2.9
令和元年	323,306	5.6
令和2年	37,840	▲88.3
令和3年	14,049	▲62.9
令和4年	39,571	181.7
令和5年	258,226	552.6
令和5年（新方式）	258,121	-
令和6年（新方式）	364,609	41.3

※ 令和6年の前年比増減は、令和5年分を新方式で推計した数値との比較を示している。

図7 外国人延べ宿泊客数の推移



## 9 国・地域別外国人延べ宿泊客数

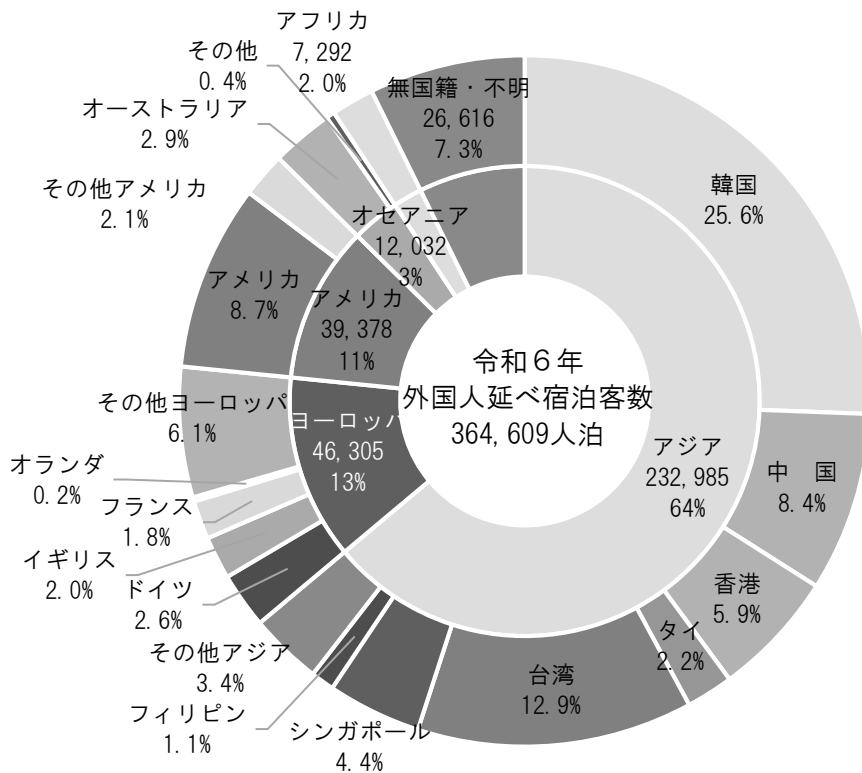
【単位：人泊、％】

順位	令和5年 (旧方式)		令和5年 (新方式)		令和6年 (新方式)			
	国・地域	推計	国・地域	推計	国・地域	推計	構成比	前年比増減
1	韓国	77,610	韓国	77,578	韓国	93,340	25.6	20.3
2	台湾	36,517	台湾	36,502	台湾	47,035	12.9	28.9
3	アメリカ	21,418	アメリカ	21,409	アメリカ	31,721	8.7	48.2
4	香港	16,086	香港	16,079	中国	30,627	8.4	110.0
5	中国	14,592	中国	14,586	香港	21,512	5.9	33.8
6	シンガポール	9,744	シンガポール	9,740	シンガポール	16,043	4.4	64.7
7	ドイツ	6,731	ドイツ	6,728	オーストラリア	10,574	2.9	61.4
8	タイ	6,563	タイ	6,560	ドイツ	9,480	2.6	40.9
9	オーストラリア	6,553	オーストラリア	6,550	タイ	8,021	2.2	22.3
10	イギリス	4,651	イギリス	4,649	イギリス	7,292	2.0	56.9
11	フランス	4,505	フランス	4,503	フランス	6,563	1.8	45.7
12	ブラジル	3,405	ブラジル	3,404	カナダ	4,740	1.3	56.1
13	マレーシア	3,286	マレーシア	3,285	フィリピン	4,011	1.1	109.4
14	カナダ	3,038	カナダ	3,037	マレーシア	3,646	1.0	11.0
15	フィリピン	1,916	フィリピン	1,915	インドネシア	2,188	0.6	46.5
-	その他	41,611	その他	41,596	その他	67,816	18.6	63.0
計		258,226		258,121		364,609	100.0	41.3

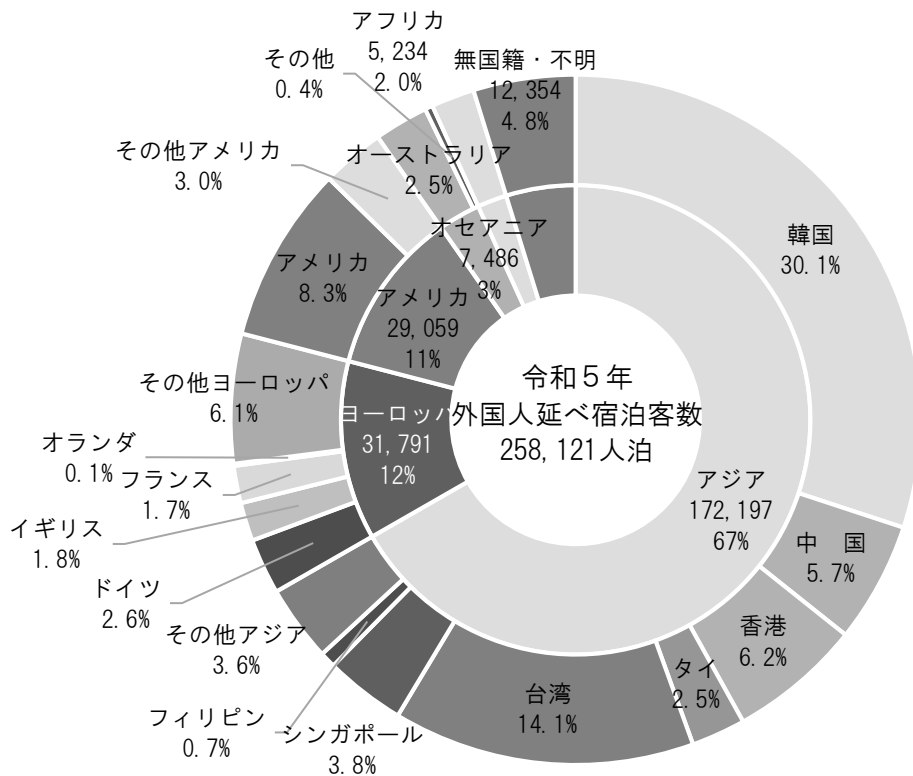
※ 前年比増減は、令和5年分を新方式で推計した数値との比較を示している。

図8 国・地域別外国人宿泊客数構成

令和6年 国・地域別外国人宿泊客数構成（新方式）



令和5年 国・地域別外国人宿泊客数構成（新方式）



※小数点第2位以下を四捨五入しているため、国・地域の合計が一致しない箇所がある。

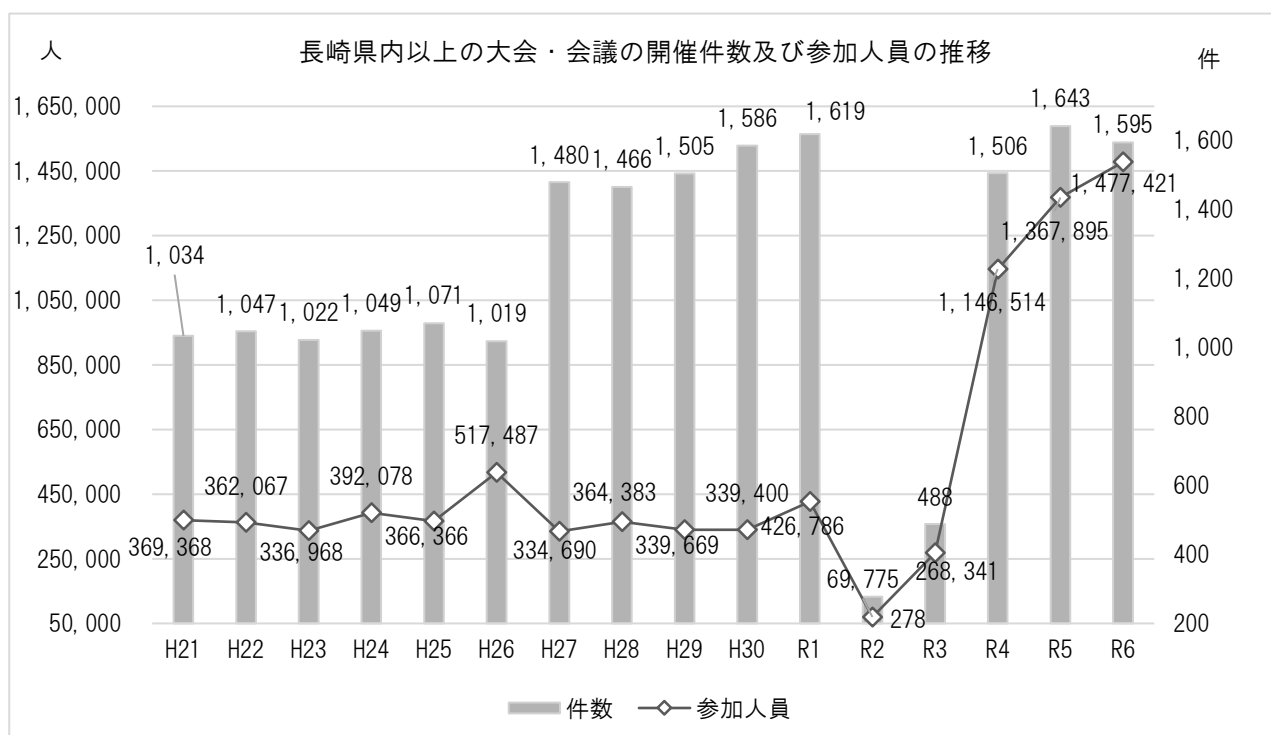
## 10 MICE統計

### (1) 長崎県内以上の大会・会議の開催件数及び参加人員

【単位：件、人】

年	件数	参加人員	
		文化・学術コンベンション等	スポーツコンベンション
平成22年	1,047	—	—
平成23年	1,022	—	—
平成24年	1,049	745	304
平成25年	1,071	768	303
平成26年	1,019	797	222
平成27年	1,480	1,246	234
平成28年	1,466	1,217	249
平成29年	1,505	1,214	291
平成30年	1,586	1,323	263
令和元年	1,619	1,313	306
令和2年	278	214	64
令和3年	488	351	137
令和4年	1,506	1,257	249
令和5年	1,643	1,370	273
令和6年	1,595	1,415	180

図9 長崎県内以上の大会・会議の開催件数及び参加人員の推移



## (2) 規模別の開催件数

## ① 文化・学術コンベンション等

【単位：件、人、％】

規模	件数				参加人員			
	令和5年	令和6年	構成比	前年比増減	令和5年	令和6年	構成比	前年比増減
100人未満	702	707	50.0	100.7	35,196	34,960	3.0	99.3
100人以上～ 300人未満	376	418	29.5	111.2	55,994	64,224	5.6	114.7
300人以上～ 500人未満	95	91	6.4	95.8	33,767	31,079	2.7	92.0
500人以上～ 1,000人未満	66	79	5.6	119.7	43,870	51,409	4.4	117.2
1,000人以上～ 2,000人未満	78	65	4.6	83.3	111,839	91,872	8.0	82.1
2,000人以上	53	55	3.9	103.8	815,530	881,914	76.3	108.1
計	1,370	1,415	100.0	103.3	1,096,196	1,155,458	100.0	105.4

## ② スポーツコンベンション

【単位：件、人、％】

規模	件数				参加人員			
	令和5年	令和6年	構成比	前年比増減	令和5年	令和6年	構成比	前年比増減
100人未満	27	14	7.8	51.9	1,563	761	0.3	48.7
100人以上～ 300人未満	95	58	32.2	61.1	17,236	10,652	3.3	61.8
300人以上～ 500人未満	57	29	16.1	50.9	20,183	10,358	3.2	51.3
500人以上～ 1,000人未満	39	36	20.0	92.3	24,783	22,238	6.9	89.7
1,000人以上～ 2,000人未満	25	8	4.4	32.0	31,571	9,780	3.0	31.0
2,000人以上	30	35	19.5	116.7	176,363	268,174	83.3	152.1
計	273	180	100.0	65.9	271,699	321,963	100.0	118.5

## (3) 大会規模別の開催件数

## ① 文化・学術コンベンション等

【単位：件、人、％】

規模	件数				参加人員			
	令和5年	令和6年	構成比	前年比増減	令和5年	令和6年	構成比	前年比増減
県内大会	993	1,019	72.0	102.6	812,734	418,551	36.2	51.5
九州大会	179	191	13.5	106.7	122,518	220,460	19.1	179.9
西日本大会	19	12	0.8	63.2	23,355	11,920	1.0	51.0
全国大会	165	172	12.2	104.2	104,157	485,342	42.0	466.0
国際大会	14	21	1.5	150.0	33,432	19,185	1.7	57.4
計	1,370	1,415	100.0	103.3	1,096,196	1,155,458	100.0	105.4

## ② スポーツコンベンション

【単位：件、人、％】

規模	件数				参加人員			
	令和5年	令和6年	構成比	前年比増減	令和5年	令和6年	構成比	前年比増減
県内大会	207	121	67.2	58.5	122,663	66,204	20.6	54.0
九州大会	43	25	13.9	58.1	23,419	63,572	19.7	271.5
西日本大会	10	10	5.6	100.0	30,865	47,676	14.8	154.5
全国大会	13	24	13.3	184.6	94,752	144,511	44.9	152.5
国際大会	0	0	0.0	-	0	0	0.0	-
計	273	180	100.0	65.9	271,699	321,963	100.0	118.5

## (4) 月別の開催件数及び参加人員

【単位：件、人、％】

月	件数			参加人員		
	令和5年	令和6年	構成比	令和5年	令和6年	構成比
1月	101	100	6.3	24,139	44,881	3.0
2月	111	122	7.6	42,654	47,511	3.2
3月	103	104	6.5	104,067	94,230	6.4
4月	97	100	6.4	118,371	59,659	4.0
5月	121	120	7.5	141,798	253,327	17.1
6月	175	181	11.3	57,174	86,387	5.8
7月	153	156	9.9	166,258	91,502	6.2
8月	136	115	7.2	150,041	114,971	7.8
9月	146	122	7.6	105,512	64,285	4.4
10月	175	168	10.5	103,156	225,209	15.2
11月	192	163	10.2	266,894	292,439	19.9
12月	133	144	9.0	87,831	103,020	7.0
計	1,643	1,595	100.0	1,367,895	1,477,421	100.0

## 11 経済波及効果

直接効果から間接 2 次波及効果までを合計した総合効果 3,175 億円が、「令和 6 年に長崎市を訪れた訪問客」の経済波及効果であり、長崎市を中心とした長崎県内に対して、直接効果（＝県内最終需要）1,920 億円の約 1.65 倍の経済波及効果を及ぼすものと推測できる。

雇用効果をみると、就業誘発効果は全体で 37,676 人と推計され、産業部門別で効果が大きいのは「飲食・娯楽サービス(19,766 人)」、「商業(5,230 人)」、「宿泊業(5,077 人)」である。

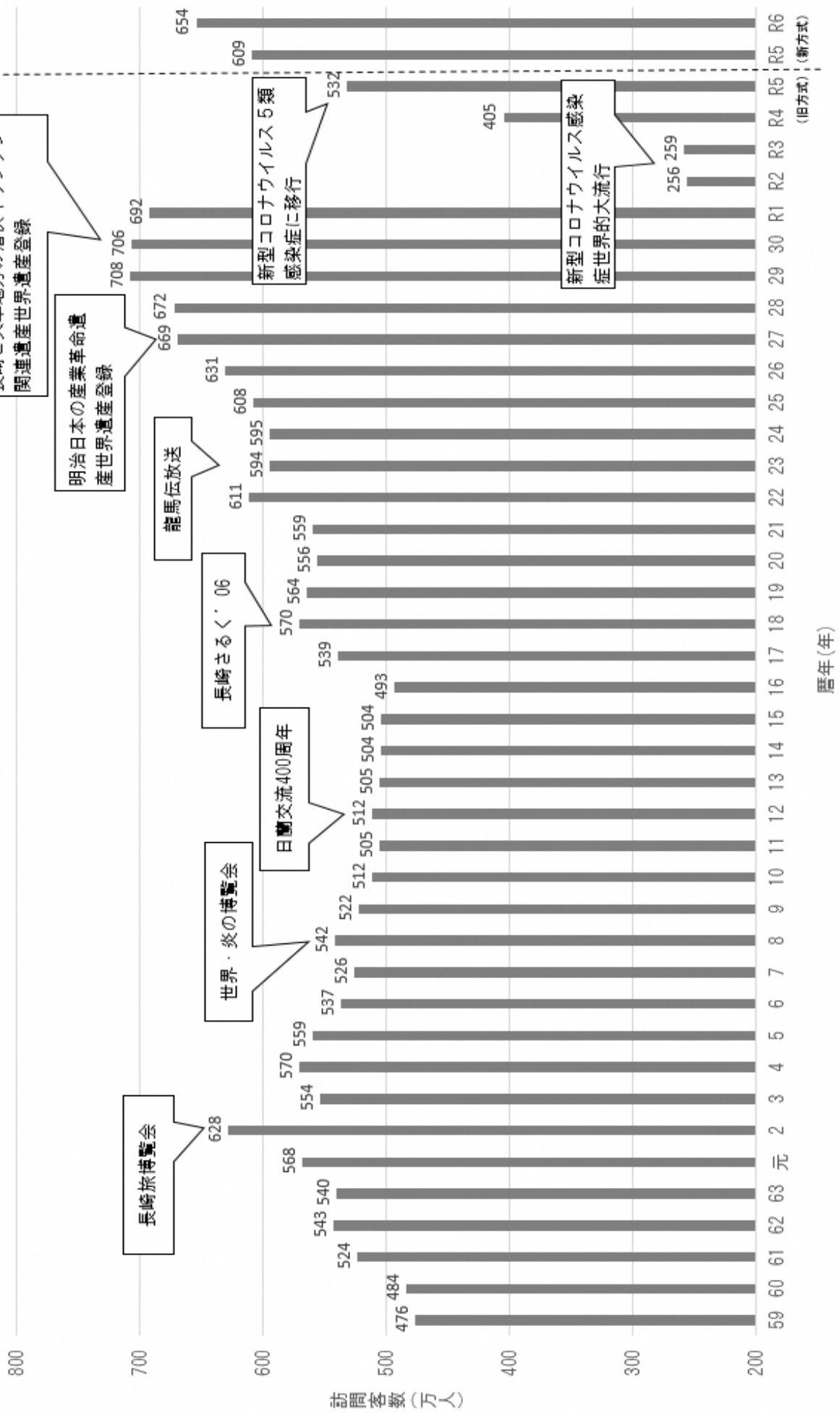
【単位：億円、人、％】

項目	令和 5 年 (旧方式)	令和 5 年 (新方式)	令和 6 年	前年比増減
			(新方式)	
総合効果 (①+②)	2,163	2,688	3,175	18.1
直接効果…①	1,307	1,625	1,920	18.2
飲食・娯楽サービス	861	1,085	1,263	16.4
宿泊業	324	385	454	17.9
商業ほか	122	155	203	31.0
波及効果…②	856	1,062	1,255	18.2
間接 1 次波及効果	562	696	822	18.1
間接 2 次波及効果	294	366	433	18.3
就業誘発効果(就業者誘発数)	25,648	31,938	37,676	18.0

※四捨五入の関係により、合計が一致しない箇所がある。

## 参 考 资 料

# 1 訪問客数の推移



## 2 主要観光施設の入場者数

【単位：人、％】

施設名	令和4年	令和5年	令和6年	前年比増減
グラバー園	555,045	721,217	776,368	7.6
出島	364,949	465,663	445,626	▲4.3
原爆資料館	554,950	741,924	796,232	7.3
合計	1,474,944	1,928,804	2,018,226	4.6

※ 入場者数には無料入場者も含む。

## 3 主要イベントの集客数及び経済波及効果

### (1) 集客数

【単位：人、％】

イベント名	令和4年	令和5年	令和6年	前年比増減
長崎ランタンフェスティバル	中止	530,000	1,210,000	128.3
長崎帆船まつり	中止	126,457	開催無し	-
合計	-	656,457	-	-

### (2) 経済波及効果

【単位：千円、％】

イベント名	令和4年	令和5年	令和6年	前年比増減
長崎ランタンフェスティバル	中止	4,349,000	10,384,000	138.8
長崎帆船まつり	中止	算出無し	開催無し	-
合計	-	-	-	-

#### 4 宿泊施設の状況

種別による部屋数及び収容人員(令和6年4月1日現在)

【単位：軒、室、人】

種別	施設数	部屋数	収容人員
旅館・ホテル	110	3,961	11,240
ビジネスホテル	28	2,896	4,861
民宿・ ペンション	17	114	270
国民宿舎・ホステル・ 保養所、その他	22	324	1,027
計	177	7,295	17,398

※ 規模別による部屋数及び収容人員は省略。

※ 令和6年4月1日現在の宿泊施設の実態について調査した結果を集計。

## 令和6年長崎市観光統計

長崎市文化観光部観光政策課

〒850-8685

長崎市魚の町4-1

電話番号 095-829-1152

FAX 番号 095-829-1232

発行：令和7年6月



長 崎 市